

【2023年度】児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

| チェック項目 | | はい | いいえ | 工夫している点 | 改善内容又は改善目標 |
|----------|---|----|-----|---|---------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | 安全が確保されるよう、利用定員の順守をしている。 | |
| | 2 職員の配置数は適切である | ○ | | 支援の質を確保するために、児童の状況に応じて職員を配置している | |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | 施設内の段差の解消や、トイレ内の改修を行い、バリアフリー化をしている。 | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | トイレの手洗い場の周りがよく水がたまるのできにしながらすぐに拭けるようにしている。 | |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | PDCAサイクルに参画している。 | |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | 保護者向け評価アンケートを実施している。保護者の意見を真摯に受け止めスタッフで会議に話し合う機会を設けている。 | |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | ホームページにて公表している。 | 活動の様子や些細なことでも公開できたらと話し合う。 |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | | 第三者による外部評価は実施していない。 |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | 社内研修や外部研修の受講を計画的に行っている。 | |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | 懇談の場を作り、家での様子、学校での様子の話をきく。不安に思っていることなどは日ごろの送迎時に聴くようにしている。 | |
| | 11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | 社内共通のアセスメントシートがある。 | |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | | 設定されている。 | |

| チェック項目 | | はい | いいえ | 工夫している点 | 改善内容又は改善目標 |
|--------------|--|----|-----|---|------------------------------|
| 適切な支援の提供 | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | している。 | |
| | 14 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | チームとしてたくさんの経験や体験ができるプログラムの発案ができる関係性にある。 | |
| | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | 児童の様子に合わせて室内活動や外出を組み合わせしている。 | |
| | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | ○ | | 常日頃からゆったりできる環境や自然に触れられる機会を持てるように特に心がけている。 | |
| | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | スタッフ一人一人が同じ考えを持てるように話し合い、同じ行動が出来るように毎日朝礼の時に話し合う。 | |
| | 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | 支援記録作成時などに言葉を交わすようにしている。情報共有が必要となる他事業所には電話やメールなどで意見交換をしている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | 個人記録をかいています。 | |
| | 20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | 定期的な会議にて計画の見直しを行っている。 | |
| | 21 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | 必要と感じた児童には支援員さんに相談し機会を設けている。 | |
| | 22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | | ○ | | 現在は行えていません。各種関係機関との連携を進めていく。 |
| | 23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | ○ | | 現在対象とする児童はいません。 |
| | 24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | ○ | | 現在対象とする児童はいません。 |

| チェック項目 | | はい | いいえ | 工夫している点 | 改善内容又は改善目標 |
|--------------|----|----|-----|--|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 25 | ○ | | 保護者への確認を行いながら、学校や園との情報共有の際は、保護者の許可を頂いている。 | |
| | 26 | ○ | | 保護者への確認を行いながら、学校や園との情報共有の際は、保護者の許可を頂いている。 | |
| | 27 | ○ | | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。 | |
| | 28 | | ○ | | 機会がある行ってみたい。 |
| | 29 | | ○ | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 現在参加できていません。 |
| | 30 | ○ | | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | |
| | 31 | | ○ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | ペアレントトレーニングをプログラムとして行っていません。 |
| | 32 | ○ | | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 入所時に説明を行っている。 |
| | 33 | ○ | | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 懇談や送迎時話を聞きモニタリングを作成し、支援計画を作っている。渡すときに間違いがないか話を何回もきくようにしている |
| 保護者への説明責任等 | 34 | ○ | | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 一緒に悩みスタッフ一同共有している。 |
| | 35 | | ○ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 母の顔を見ると帰りたくなる児童が多いので保護者だけのお茶会はあった方がいいと感じている |
| | 36 | ○ | | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 一旦話を聞き、スタッフで話し合い、協力できるか話し合う。迅速に解決できるよう対応している。 |

| チェック項目 | | はい | いいえ | 工夫している点 | 改善内容又は改善目標 |
|------------|----|----|-----|--|-------------------------------------|
| 保護者への説明責任等 | 37 | ○ | | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 行事予定表の配布などを通して、保護者への情報発信をしている。 |
| | 38 | ○ | | 個人情報の取扱いに十分注意している | 気を付けている。 |
| | 39 | ○ | | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 話が聞けるように落ち着いた環境で話すように心がけている。 |
| | 40 | | ○ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 事業所の行事はないがお祭りや地域の催しには参加したいと思っている。 |
| 非常時等の対応 | 41 | ○ | | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 入所時マニュアルを渡している。 |
| | 42 | ○ | | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 月一回避難訓練や防災学習を行っている。 |
| | 43 | ○ | | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 必要に応じて母からコピーをもらうようにしている。 |
| | 44 | ○ | | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | アレルギー対応が必要な子どもには、詳細な結果や対応指示書を頂いている。 |
| | 45 | ○ | | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ヒヤリハット記録の作成を進め、事業所内での共有に努めている。 |
| | 46 | ○ | | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 事業所内や社外研修会の受講をしている。 |
| | 47 | ○ | | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 必要に応じて記載している。 |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。